



学校だより 大寒波号

令和8年(2026年)1月23日

門真市立門真小学校

校長 植原 宏仁

【教育目標】

『未来を切り拓く生きる力の育成』

【めざす子ども像】

- 自らねばり強く学ぶ子
- 思いやりのある子
- 自尊心の高い子
- 心身ともにたくましく健やかな子

1部のトイレが使えません。



大寒波の影響（詳細は右ページをご覧ください）で、1号階段（一番西側）の近くのトイレ（主に、2年生・4年生が活用、1階教職員用も）が1月27日まで使えません。その間は、不便をかけますが、その他のトイレを使ってもらうことになります。児童には少し不便をかけてしまうことになり、心苦しいですが、今日を入れて3日間、他のトイレを使う予定です。



水道管から水漏れが起きました



ここ数年なかった大寒波が日本にくるとニュースで聞いていましたが、本校でも大きな影響がありました。この寒波の寒さに屋上の「配管と配管のつなぎ目」が耐えること出来なかったようで、夜中に水漏れが発生しました。そのため、校舎内の水道の元栓をしめる対応が夜中にありました。

凍る 地面！



大寒波の影響で、屋上の水道管から水漏れが起こり（詳細は右ページ）、業者の方が水漏れの原因を調べるために、閉めていた元栓を開けると、大量の水が配管（屋上から1階の溝につながる）からあふれてきました。

しばらくすると、あふれた水が地面で凍り、みるみるアイススケート場のようにツルツル状態になっていきました。それが、20分休み前だったということもあり、氷を溶かして、水をはこうとしましたが、凍るスピードに勝てず、危険な箇所に立ち入ることが出来ないようにする対応をしました。

しかし、この時期、校舎の北側は、太陽の日差しが当たらないため、地面の温度が上がりにくいです。そのため、地面は凍ったままで、昼を過ぎても凍っていました。

凍る 管!!



危険は、屋上から地面につながる管にもありました。

地面の水をはいていた時に、ガシャンとガラスが割れるような音がしました。何かと振り返ると、落ちてきた氷が割れていました。管の周りに氷がび

っしりついていて（画像では見にくいですが）、溶けて落ちてきたのです。すぐに、管のまわりに張り付いている氷をはがすと同時に、近くに入れないように、対応しました。



校舎内の水道が止まっているため、水道とトイレが使えない状況でした。そのため、児童が登校するまでにトイレを使えるようにする必要があり、出勤していた教職員でバケツに水を入れて、トイレを使った人が各自で流すことが出来るように準備をしました。幸い、運動場の水道が使えたため、きれいな水で対応できましたが、万が一、それが使えなかったら、プールの水を使うことも考えていました。業者と教育委員会に9時までには本校で状況確認と対応の検討をしていただけたおかげで、大きな混乱なく、本日を終わることが出来ました。

お家でも実際に災害があった時のトイレの活用方法について、お話しいただいたり、トイレの使い方の練習したりする良い機会かと思います。

水が凍っていく!!!



気温が上がらず、太陽光も当たらないため、運動場の水たまりの水が0度を前後する温度にありました。理科の専科の先生が発見！その水たまりをのぞいたタイミングで、水たまりの水が凍っていく状況を目で見る事が出来た人もいたようです。凍っていく様子を見ることが出来た人は、ラッキーでした。